

テーマ

「農業者年金の加入推進の取組み」

益田市農業委員会

活動内容

各種会議等へ積極的に参加し、農業者年金についての理解を深め、農業者年金は農業者のためにできた制度であり、農業者年金制度がメリットの多い年金であることなどをやさしくわかりやすく説明すると共に、農業委員の日頃の活動や、農家との付き合いの中で信頼関係を築くことで、加入推進に役立てた。

また、農業者年金制度について、広範な農業者への周知を図るため、農業委員会だよりに掲載すると共に、JAが発行している広報誌にチラシ等を添付するなど、広報・宣伝活動を行った。

取組み成果

農業委員、農協職員、事務局等が協力しながら女性を含む対象者に対し、繰り返し個別訪問をし、本年度(2月末現在)3名の新規加入にいたった。

会長コメント

中山地が大部分を占める当地において、農業経営を確立することは困難を極めている。

農家は農業者年金の必要性は理解をされているが、安定した農業所得の確保が保障されない中であって推進活動は難しい。今後、女性農業者に対し、今以上に推進活動を展開したい。

テーマ

「飼料作付けによる遊休農地の解消」

益田市農業委員会

活動内容

遊休化していた当農地(畑地3.6ha)は、以前、山崎牧場が所有していたが、平成17年10月隣接地に酪農経営を主体とした「メイプル牧場」を関係者と一緒に設立し、同時に元山崎牧場の山崎孝雄氏が代表取締役となり、子供たちの健やかな成長を願い、おいしい牛乳を届けることを目指すなど、地域に根差した安定経営を行っている。

しかし、旧山崎牧場の畑地はその後有効に利用する事無く遊休化し、耕作放棄地となっていた。

今回、益田市農業再生協議会と協力し、大型草刈り機を利用するなどして再生を行なった。今後、再生された畑地に牧草の作付けを実施し、メイプル牧場に供給する予定である。



取り組み成果

幹線道路沿いに点在し、景観上問題となっていた大規模遊休地3.6haを解消し、牧草を作付けすることにより飼料自給率の向上を図る。

会長コメント

農業の再構築に向けた新たな取り組みが求められる中で、今回の事例は先進的で積極的な活動と言える。

耕作放棄地の解消は、農業情勢が不透明な中において困難を極めるが、農業で生活ができる体制を早急に構築することが最も重要と考える。